

評価

A:よい

B:おおむねよい

C:不十分

総合評価			学校評議員記入欄	
			評価	コメント
<p>定時制全体が大変落ち着いた雰囲気、いじめ・体罰・問題行動の発生がない。生徒は安心・安全な学校生活を送っている。本課程として地域や関係支援機関と定期的に情報交換をおこない、生徒支援のための継続的な連携につとめている。SST等も単発的な取り組みだけではなく、職員と家庭の双方がキャリア教育的観点とコンセンサスを持って、日常的に指導をおこなうことが大切である。個々の生徒が挨拶をはじめとした基本的なことを習慣として身につけ、社会性や社会的常識、キャリアプランニング能力などが育つように導くため、諸活動指導の見直しをはかる必要がある。定時制のさらなる充実を目指して、個々の生徒に対する指導体制をより一層研究していきたい。</p>			A	<ul style="list-style-type: none"> <li>自立した生活を送れるようお願いしたい。</li> <li>先生がよく生徒をみて指導している。</li> </ul>
成果と課題	評価	改善策・向上策	学校評議員記入欄	
			評価	コメント
<p><b>重点目標① いじめ・体罰等のない安心かつ安全な学校づくりをすすめる。</b>  <b>【成果と課題】</b> 生徒対象の講演等を開催し、人権意識や個人の尊重について理解を深めた。職員対象の非違行為防止研修会により、体罰防止の意識向上が見られた。夜間、生徒が安全に下校できるために、気象や交通の情報把握に注意を払って対応できた。コミュニケーション不足により、お互いを理解する力が不足している傾向が多少みられた。</p>	A	<p>更なる研修会や学習会を行ないながら、コミュニケーション能力の向上や社会性の定着に向けての対策等進める必要がある。                      鉄道状況については木曾福島駅と連絡を取りあっているが、不測の事態・重大な気象状況（台風、大雪等）の場合は、今後もあらかじめ適切な対応策がとれるようにしておく必要がある。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニケーション能力の向上が今の社会では一番大切。</li> <li>多様な生徒が明るく登校し、学べている。</li> </ul>
<p><b>重点目標② 学習・生徒指導の両面から生徒一人ひとりを大切に教育活動を推進し、社会に出てからも通用するような生きる力と豊かな感性をはぐくむ。</b>  <b>【成果と課題】</b> 習熟度別授業や成績不振者への補習を実施した。また面接等を通じて、生活面や学習面に対し、丁寧に生徒の相談に乗ることができた。個々の生徒の学力差が大きい、限られた時間内では指導等困難な面があった。</p>	A	<p>各教科において生徒自身が興味・関心を持つよう、さらに教材や授業を工夫していく。                      生活面も含め、全員が一丸となって、生徒一人ひとりに対して同じことを繰り返し粘り強く指導する必要がある。                      また、生徒一人ひとりに時間をかけて、自己の在り方や生き方について考えさせる。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人指導がよくなされている。</li> </ul>
<p><b>重点目標③ 生徒が希望する進路を実現するための基礎的な学力及びコミュニケーション能力を育み、社会的適応力を高める。</b>  <b>【成果と課題】</b> 様々な外部講師を招いて講習会を実施したことにより、生徒自身普段と異なる刺激を受けることができ、生活態度の向上、社会への意識向上がみられた。                      生徒会活動や生活体験発表会などへの参加意欲に乏しい生徒への指導が困難であった。また発達障害のある生徒に対して十分な支援ができなかった。</p>	B	<p>今後も様々な講習会や講演会を計画し生徒に自己の在り方や生き方について刺激と情報を与える。                      個々の生徒に応じ、普段から社会性を身につけさせられるよう意識しながら長い時間をかけて、粘り強く指導していく必要がある。                      希望する進路の無い生徒が多いため、自身の将来について少しずつ考えさせる機会を持つことも必要である。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来の事を考えさせる時間が必要。</li> <li>元気に挨拶し、声を出し、語りかけるような指導が必要でしょうか。</li> </ul>
<p><b>重点目標④ さまざまな活動をとおり、地域との連携と開かれた学校づくりを推進する。</b>  <b>【成果と課題】</b> 定時制PTA・説明会等において、同時に授業公開を実施し、性教育講話などの講演会も地域に公開して行なった。また地域の保健師や支援員との交流も持てた。                      地域において、生徒会等が中心となって活動する機会もあったが、積極的に参加できなかった。</p>	B	<p>地域の保健師や支援員との交流により、生徒へ多面的な指導ができるようになっていっているので今後も継続していきたい。さらに地域社会（コミュニティ）との関わり方を模索したい。                      地域との連携を強化するため、ホームページ等をさらに利用して地域にもっと情報を発信していきたい。生徒会または定時制として地域に貢献する活動、行事への積極的参加も検討する必要がある。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人差が大きい。仕事で社会の中で活動したり、地域の行事に加わる生徒もいる一方で、まったくそのような経験のない生徒もいる。</li> </ul>

評価項目		評価	改善策・向上策	学校評議員記入欄	
				評価	コメント
学習指導	授業内容（補充授業を含む）の充実と出席率の向上	B	生徒の実態に応じた課題や教材の選定により、生徒の興味・関心を引き出すことで、基礎学力の定着や出席率の向上をはかる。職員間での授業の相互参観も計画的に実施したい。 著しく不振な教科を持つ生徒、欠席の多い生徒もいるが、粘り強く指導をしていきたい。入学当初から本人、保護者の双方にさらに十分な説明が必要である。	B	
進路指導	進路目標の明確化と進路実現	B	低学年から地域とも連携して、就労体験や就労を奨励し、進路に対する意識付けに取り組む必要がある。アルバイトなどを通じて「働くこと」意義を体感して欲しい。	B	・社会に出る楽しさを教えることも大切である。 ・個々の生徒の目標に格差が生じているのではないかと。
	キャリア教育の推進	B	低学年から就労見学や就労体験を奨励するとともに、自己の在り方や生き方を考えられる講話や研修会を実施し、個々の生徒に応じて相談や指導をしていく。卒業後の自立した生活の見通しを持たせる指導が必要である。全日制と定時制の進路指導の連携も継続したい。	B	・職場見学も必要ではないかと。 ・体験発表会をさらに充実させたい。
自主活動	クラブ・生徒会活動等自主活動の活性化	B	大会前などを中心にクラブ活動の時間を保障し、春と秋の大会への積極的な参加を促す。また文化部の活動内容の検討が必要である。 生徒会活動においては、生徒だけの企画・運営は難しい場面が多いので、早い段階から生徒に考えさせるような教員のサポートが必要である。職員全体で、適切な助言・協力をしていく。	B	・文化祭には積極的に参加し、全日制の生徒と共に元気に活動している。模擬店の取り組みは立派であった。
生活指導	社会的常識を持つ人間の育成	B	職員がコンセンサスを持ち、同じことを繰り返し指導する必要がある。社会常識やルールについて授業や行事など、機会あるごとに指導する。	B	・社会人・企業家等の話も必要なのではないかと。
	全職員による生徒の状況把握	A	毎週の職員連絡会で、生徒の出欠席や状況を確認して、きめ細かい指導内容を随時検討し、対応する。	A	・先生方は生徒をよくみていて下さる。
	相談体制の充実	A	より多くの校内外研修の機会等を持ち、学校全体で支援していく体制を継続していく。	A	
	家庭・地域との連携	A	家庭については当然であるが、児童相談所や町村の保健師等とも連絡を密に取り、学校生活に早く適応できるように、また卒業後のことも念頭において連携を深めていく。	A	・大変なことだが頑張ってください。
学校運営	緊急時保護者への連絡体制の完備	A	緊急時の具体的な教職員の動きや、必要な物品や書類等の場所の共有がよりできるように、定期的に連絡会等で話題にする。緊急連絡メールによる緊急連絡網が整備されているが、未登録の場合もあるので、生徒・保護者の登録状況については定期的に確認する。	A	・緊急メールの大切さをもっと教えて下さい。 ・時々の点検も大切でしょう。
	学校ホームページ・パンフレットの充実	A	本年度は意識的にホームページ更新回数を増やした。次年度も継続したい。パンフレットについては毎年見直しを行い、中学生や保護者に分かりやすい広報活動を行う。	A	・広報活動は大いに大切だと思います。大いに工夫して頂ければと思う。
	授業等の公開	A	授業公開の時期や回数については、引き続き検討していく。また、授業見学の希望があれば、随時行っていく方針は継続したい。	A	